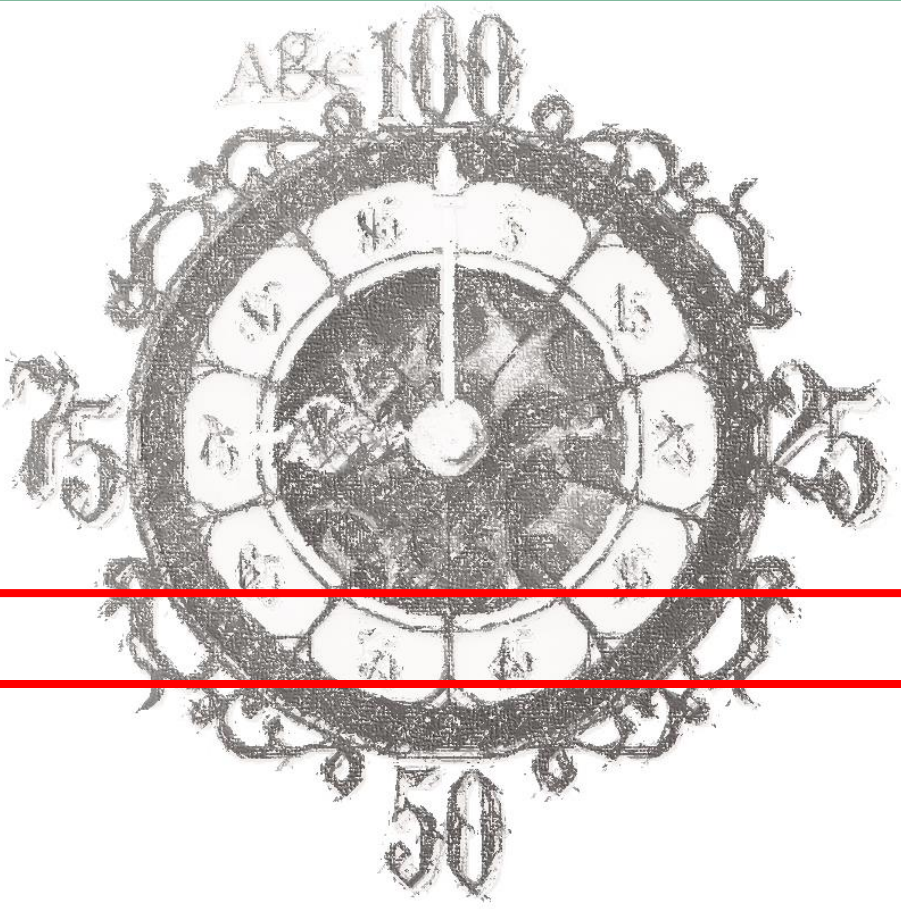


人生100年時代と信託

~2000年生まれの日本人の寿命は104歳~

	2000		2006	2007
Canada	102		104	104
Denmark	99		101	101
France	102		104	104
Germany	99		101	102
Italy	102		104	104
Japan	104		106	107
UK	100		103	103
USA	101		104	104

Data are ages in years. Baseline data were obtained from the Human Mortality Database and refer to the total population of the respective countries.

信託について

信じて託す 歴史

人生100年時代について

長寿 たとえば認知症

信託の使い方

人生100年と信託の機能

信託について

「信じて託す」⇒ご自身での、そのような場面を想定してください
大切なモノを、友人？を信じて、託す場面です

例えば、あなたは4年間別の場所に住むことになり、
あなたが大切にしている、自分たちの他、
近所の人にも果実をあげている、
庭のミカンの木の面倒を誰かにみてもらう
こととなりました(＝信じて託す場面)

あなたは、どのような託し方をしますか？

- * 誰にお願いしますか、友人ですか？
- * その際どんな内容でお願いしますか？
世話の仕方、必要な費用、期間



信託について

信じて託す

例えば、

果実は誰にあげますか？（今まで家族のみならず近所の人にも配っていました）

⇒信託は受益者の為に財産を管理します

獲れた果実を、友人が自分の家のミカンと混ぜてもいいですか？

⇒信託には、分別し管理する機能があります

友人で大丈夫？ 専門家であるみかん農家に託しませんか？

⇒信託には様々な転換機能があります

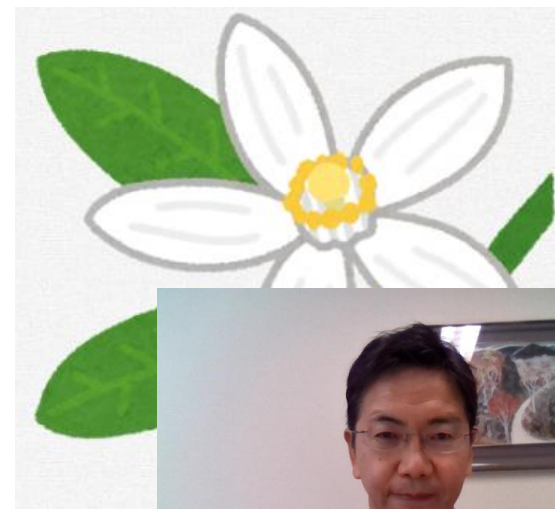


信託について

もう少し「信託」について

例えば、このみかんの木、
委託しているあなた自身が4年間のうちに死んでしまったらどうなりますか？ 引っ越しから戻ってきても、体が不自由になっていたり、認知症になっていたりしたら、どうしますか？

超高齢社会ではこういう機会が増えます
⇒
事前にあらかじめ、決めておくことが大切



信託について

ある人(委託者)が信託契約や遺言によって、
信頼できる人(受託者)に対して

自身が持っている金銭や土地といった財産を
名義ごと移転し、

受託者が委託者の設定した目的(信託目的)に従って

委託者の指定する人(受益者)のために

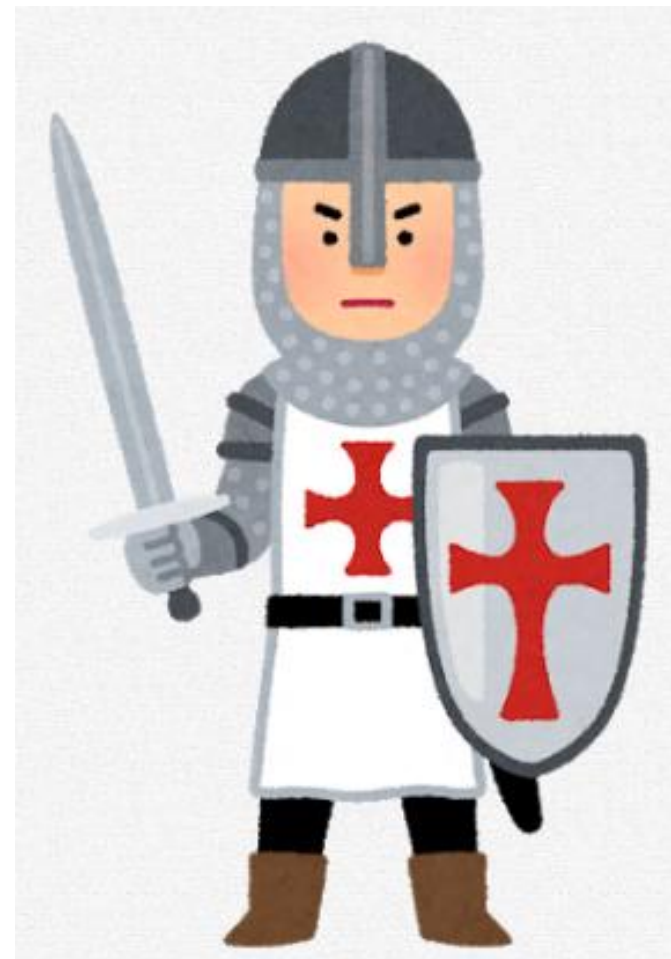
その財産(信託財産)の管理・処分その他必要な
行為をすること

信託について(歴史上のお話 ヨーロッパ編)

十字軍の時代…11-13世紀

一所懸命、自分の領地、農地を守り、蓄え、管理してきた領主は、十字軍の騎士として、遠くへ行くこととなりました。

そのころ、妻や子供に財産管理権はなく、そのため、自分が信頼している友人に、領地、農地を託すことになります。



十字軍の時代……11-13世紀

騎士の留守中、領地や財産の名義を友人名義にします

そして

その友人は、

その騎士の家族のために、

領地や財産の管理と運用を行い、

騎士の家族を養います

そして万が一の時は、騎士の家族に

その領地、農地の名義を譲渡します



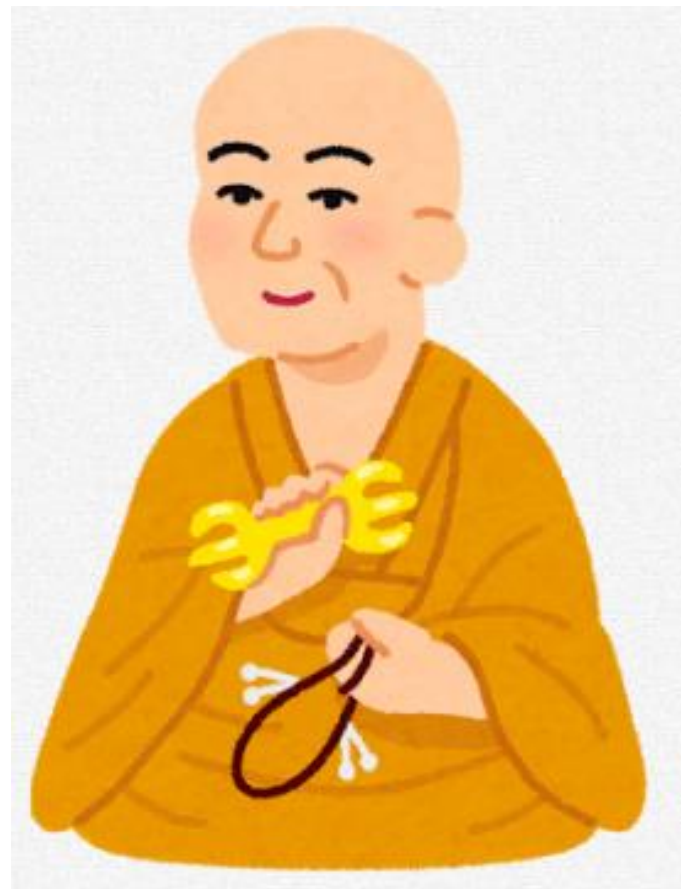
信託について(歴史上のお話 日本編)

平安時代…天長5年(828年)……

学べることは、大切なことですが、

平安時代は、貴族むけにしか、
教育機関はありませんでした。

庶民も学べる教育機関を作り、
より多くの国民が、
学ぶことは大切なことだ
と
空海さんがおっしゃった



信託について(歴史上のお話 日本編)

平安時代…天長5年(828年)……

その空海さんのお言葉を受けて、

藤原三守というお公家さまが、
自らの九条の邸宅を、信託し、

託された空海さんが
学校を建設し、
学校運営を行った
そのメリットを享受する
受益者は庶民だった…



信託について(再掲)

ある人(委託者)が信託契約や遺言によって、
信頼できる人(受託者)に対して

自身が持っている金銭や土地といった財産を
名義ごと移転し、

受託者が委託者の設定した目的(信託目的)に従って

委託者の指定する人(受益者)のために

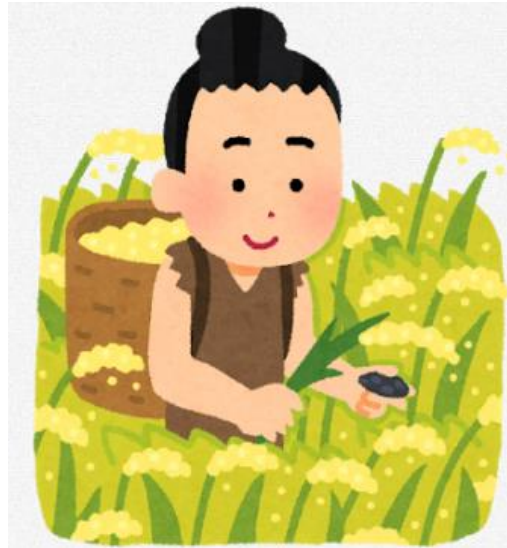
その財産(信託財産)の管理・処分その他必要な
行為をすること

人生100年時代について

ホモサピエンスの時代
20万年のあいだ、
平均寿命 **25年**



農耕が始まり
1万年のあいだ、
平均寿命 **50年**



第二次大戦後
平均寿命80年
そしてたった1世紀で
50年から**100年に…**



人生100年時代について

そして日本人が、人類の先頭…

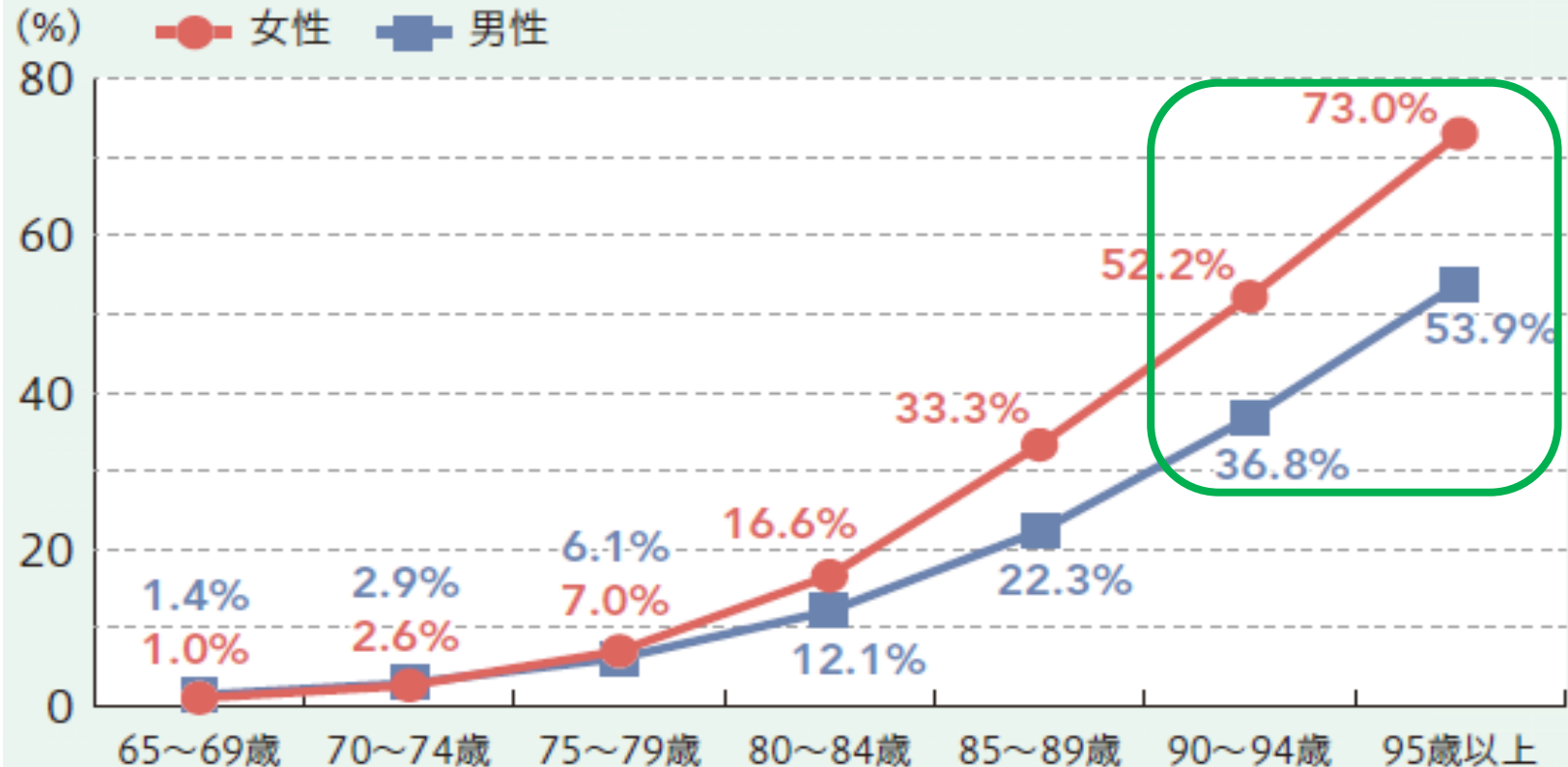
	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007
Canada	102	102	103	103	103	104	104	104
Denmark	99	99	100	100	101	101	101	101
France	102	102	103	103	103	104	104	104
Germany	99	100	100	100	101	101	101	102
Italy	102	102	102	103	103	103	104	104
Japan	104	105	105	105	106	106	106	107
UK	100	101	101	101	102	102	103	103
USA	101	102	102	103	103	103	104	104

出典: Calculated using data from Human Mortality Database, University of California, Berkeley (USA) and Max Planck Institute for Demographic Research

人生100年時代について

人生100年時代のラスト10年について

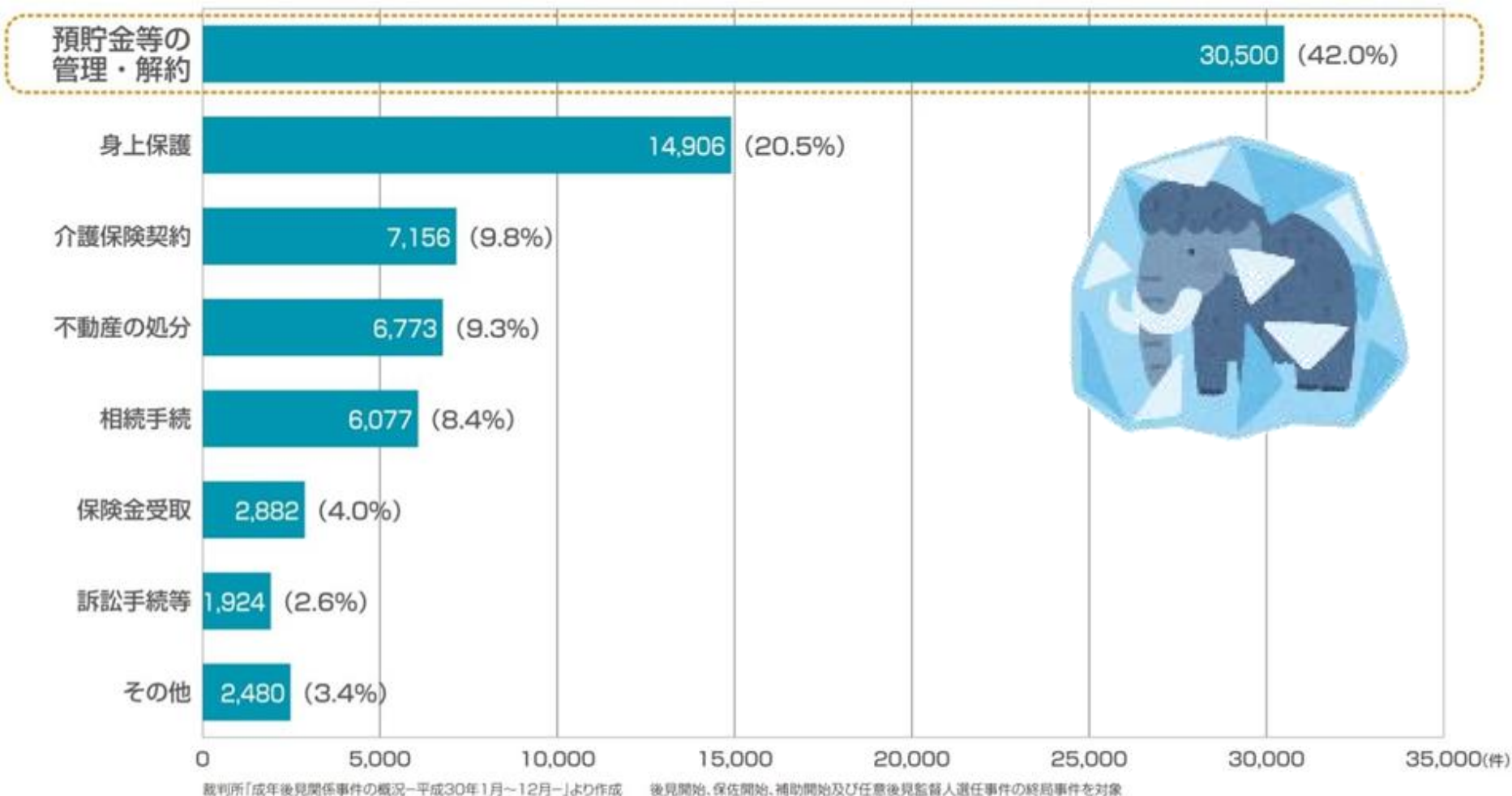
年齢別認知症出現率



出典：地方独立行政法人東京都健康長寿医療センター 平成24年度老人保健事業推進費等補助金 老人保健健康増進等推進事業「認知症の総合アセスメント」

人生100年時代について

成年後見申し立ての動機



人生100年時代について

人生100年時代は多病時代
無病息災から一病息災を経て多病息災へ

健康の概念も

「肉体的精神的社会的に満たされた状態」
から、

「生活習慣病や認知症とつきあいつつ、豊かな生活をすごす状態」へ変遷しています

これらを前提としたライフプランが人生100年時代には必要です



信託の使い方

＜信託の特徴＞ 第一章のミカンの木のたとえを思い出してください

財産に関する権利者の転換（能力の転換等）

属性：例：管理を専門家に託す、友人に託す、家族に託す

財産の転換（時間や資産の転換）

時間：例：自分が死んでも孫に教育資金として贈与し続ける

性状：例：受益権をいくつかの種類に分ける

単位：例：小口の財産を集めて合同で運用管理する

すべては受益者のために、
信託目的にのっとり行われます
信託は人生100年時代に有用です



信託の使い方

豊かさとは、「選択肢があること」だとも言われます。

セカンドステージも50年あります。
また人生ラスト10年の過ごし方などを
ライフプランに含めておくことも大切です

アドバンスドプランニング、
あらかじめ、の準備が大切です

(転換機能など) 信託を使いこなし、
いくつかの選択肢を保持し続けることは、
人生100年時代を、豊かな人生にするために有用です



ご清聴ありがとうございました
全ての SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS に信託を

世界を変えるための17の目標

1 貧困をなくそう



2 飢餓をゼロに



3 すべての人に健康と福祉を



4 質の高い教育をみんなに



5 ジェンダー平等を実現しよう



6 安全な水とトイレを世界中に



7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに



8 働きがいも経済成長も



9 産業と技術革新の基盤をつくろう



10 人や国の不平等をなくそう



11 住み続けられるまちづくりを



12 つくる責任 つかう責任



13 気候変動に具体的な対策を



14 海の豊かさを守ろう



15 陸の豊かさも守ろう



16 平和と公正をすべての人に



17 パートナーシップで目標を達成しよう



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

2030年に向けて
世界が合意した
「持続可能な開発目標」です